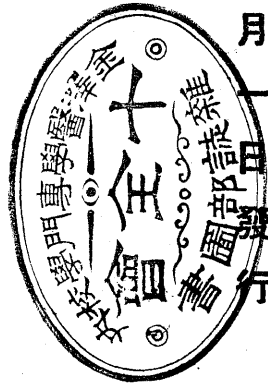


表紙, 目次, 通信

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38075

大正五年五月一日發行



十全會雜誌

卷一十二第

號五第

(號四十二百第)

全澤醫學專門學校十全會

十全會雜誌(第十一卷第五號) 目次

○原著及實驗

●自家考察「トラホーム」鑷子ニ就テ。

城石健治

●角膜實質炎ニ因スル角膜脂肪變性ノ病理組織ニ就テ。

金澤醫專眼科

栗山光太郎

●上顎壞疽ニ就テ。

九州醫科大學耳鼻咽喉科教室

高崎文雄

●眼球結膜ニ於ケル淋巴管中ノ血液滲漏ノ一例。

ドクトル 辻本辰之助

○學會

●金澤皮膚科集談會。

森田隼三君「アルサミノール」ノ臨牀實驗。

山田孝太郎君「プロテイン」銀(圓城商店)ニ就テ。

山田孝太郎君 丹毒ニ就テ。

土肥章司君 尖圭紅色苔癬ノ二例。

土肥章司君 黴毒皮膚反應ニ就テ。

●學會講演。

○通信

●北豐吉氏通信。●大村作太郎氏通信。●村山良平氏の名譽。

○叙任及辭令

●内閣。●金澤醫學專門學校。●石川縣。

○廣告

●上田教授在職記念品贈呈酬金第五回報告。

●山崎教授在職貳拾年祝賀會寄附金第五回報告。

●金子博士在職參拾年祝賀會寄附金申込第三回報告。

●金子博士在職參拾年祝賀會寄附金申込第二回報告正誤表。

金澤皮膚科集談會

Dermato-Urologische Versammlung zu

Kanazawa: 11. Sitzung, gehalten am 12.

December 1915.

森田隼三君 「アルサミノール」ノ臨牀實驗

H. Morita: Klinische Beobachtungen von Arsamnol.

金澤病院皮膚科ニ於テ患者二十一名ニ「アルサミノール」ヲ注射スルコト四十五回其内第一期微毒及第二期潜伏微毒ノモノ各々一名第二期潜伏微毒五名第二期有疹性微毒十二名乳糜尿患者二名アリ外來患者トシテ注射セルモノ十回ヲ除キ左ニ注射實驗ヲ極メテ簡單ニ述ベンニ「アルサミノール」注射後ニ於ケル副症狀ノ主ナルモノハ頭重、頭痛、耳鳴、惡寒、戰慄、嘔氣、惡心、腹鳴、下痢、發汗、口渴、熱感等ナリ然シテ第一期患者及第二、三期潜伏期ノモノハ第二期有疹性ノ患者ニ比シテ副症狀一般ニ輕シ是等ノ

副症狀ハ高熱者ニハ從ツテ強ク輕熱者ニハ輕シ今假リニ三十七度五分迄上昇セシヲ無熱トシ三十八度迄昇リシヲ輕熱三十九度迄ヲ中熱三十九度以上ヲ高熱トスレバ

無熱 一六(四五・四%) 輕熱 七(二〇・〇%)

中熱 三(八・五%) 高熱 九(二五・七%)

ニシテ之ヲ最近舊「サルワルサン」注射患者二十一名ニ比スルニ無熱者及高熱者ハ割合ニ多キモ中熱者ハ比較的少シ要スルニ未ダ少數ノモノニツキ確固タル統計トハナラズ其他副症狀トシテ蛋白ヲ尿中ニ出現シタルモノ三名發疹ヲ發生セル者二名顔面浮腫ヲ來タシタルモノ二名アリ效力ニ就テハ頭部環狀丘疹性微毒疹ヲ有スル一患者ノ如キハ注射ノ翌日ヨリ頓ニ縮小ヲ認メ五日目ニハ殆ド消滅セシモ他ノ丘疹性微毒疹ヲ有スル患者ハ漸ク二回ノ注射ニシテ發疹ノ縮小ヲ認メタリ要之其效力ハ舊「サルワルサン」ニ比シテ大差ナキモノ、如キモ尙ホ多數ノ實驗ヲ經テ他日更ニ報告スルノ期アルベシ

山田孝太郎君 討論 K. Yamada: Diskussion.

予ノ「アルサミノール」注射人員九人ニシテ中四人ハ七日或ハ八日間歇ヲ以テ三回二人ハ二回三人ハ一回ナリ

(一回ノ中一人ハ最初獨逸製「ネオ・サルワルサン」五號ヲ注射シ七日ノ後「アルサミノール」〇・二ヲ注射セリ)

從來使用セシ獨逸製「サルワルサン」或ハ「ネオ・サルワルサン」ハ第一回ニ熱發スルモ一回後熱發シタルモノ甚ダ稀有ナリシガ「アルサミノール」ハ其量悉ク第一回ハ〇・三ナリシニ關セズ無熱ノモノ只一人ニシテ其他ノ八人ハ皆熱發シ就中八度以上ニ昇リシモノ二人七・五以上二人三十七・乃至三十七・一ノモノ四人第二回注射ニハ無熱二人七・〇乃至七・五二人七・五乃至二十八度二人三十八度以上一人第三回注射四人共ニ皆七・五以上ノ熱ヲ發シ中一名ハ唇及軟口蓋ニ「ヘルペス」ヲ發シ二日間八・以上ノ熱ヲ有シタリ

蛋白質ヲ見シモノハ三名ニシテ中一名ハ第二回注射ノ翌日微量一名ハ一回注射後五日微量二回注射後三日目甚ダ著明ニシテ一回注射後五日甚ダ著明ニシテ他ノ一名ハ第一回ノ六日目微量二回ノ三日目微量三回ノ翌日微量ヲ見シモ共ニ皆一日ニシテ其前後ハ全ク蛋白ヲ有セザリキ體重ハ第一回注射當日ヨリ第二回注射當日ニ至ル迄増量セシモノ三名共ニ第三回注射ノトキ少シク減量シ二回目

ニ減量セルモノ二名アリタリ

效力 三名ハ發症アリ中二名「コンヂローム」ニシテ奏效甚ダ著明ナリシガ一名ハ舌及口蓋ノ潰瘍ニシテ注射後五日其半吸收セラレシノミ其他ノ六名ハ潛伏黴毒ナリシ故ニ效果不明ナリ然レドモ潛伏黴毒一名ハ頸腺肘腺腋窩腺ノ著明ニ腫大セシモノ注射ニヨリテ著シク縮小シ肘腺ハ蠶豆大ノモノ小豆大ニ吸收セラレタリ

山田孝太郎君 「プロテイン」銀(圓城商店)ニ就テ

K. Yamada: Über Proinsilber.

〇・五%溶液ヲ尿道ニ注射シ「プロタルゴール」水ニ比シ效力略々同一ナリト云ヒタリ

山田孝太郎君 丹毒ニ就テ

K. Yamada: Über das Erysipelas.

明治三十五年予ノ治療セシ丹毒患者中記載ノ明カナリシモノ四十二名ニ就テ見ルニ中十八名ハ男子ニシテ二十四名ハ女子ナリ

年齡 一歳以下四人、十歳乃至二十五歳五人、二十一歳乃至三十歳四人、三十一歳乃至四十歳五人、四十一歳乃至五十歳十人、五十一歳乃至六十歳四人、六十一歳乃至

七十歳四人、七十一歳乃至八十歳二人、八十一歳乃至九十歳二人、九十四歳一名ヲ算シ中八十三歳一名、七十二歳一名、一ヶ月ノモノ一名死亡シ其他ノ三十九名ハ全治シタリ其大多數ハ遊走性丹毒ニシテ次ハ水疱性ナリ他ニ蜂窠織炎トシテ最初切開シ次日ヨリ丹毒ト診斷セシモノ一名、壞疽性丹毒(但シ一部)一名ヲ見ル

部位 頭部顔面ニ初發セシモノ三十人、頸部二人、軀幹六人、下肢二人ニシテ中二名ハ全身手掌足蹠ニ至ル迄悉ク順次侵襲セラレタルモノヲ見タリ而シテ鼻腔粘膜ニ初發セリト思フモノ一名咽頭粘膜ニ初發セリト思フモノ一名アリキ

治法 從來比較的著效アリト稱セラレシ「イヒチオール」劑ハ特ニ優秀ノ點ヲ發見セズ殊ニ純「ラヒチオール」又ハ濃厚「イヒチオール」コロヂウムノ塗布ノ如キハ寧ロ不快ノ感ヲ與フルノミナラズ治癒後被毛部ノ如キ之ヲ除去スルニ頗ル困難ヲ感ジタリ器械的療法(或ハ鬱積療法ノ趣旨ニテ)ノ目的ヲ以テ行フ絆創膏ノ纏絡ノ如キ之ヲ容易ニ行ヒ得ベキ四肢ニ用キタルモ嘗テ其蔓延ヲ拒止スルコトヲ得ザリキ予ハ緊張熱灼ヲ緩解センガ爲メニ緩和ノ軟

膏ヲ貼シ其上ヲ罌法シ以テ自然ノ治癒ヲ待チ傍ラ心方ヲ維持センガ爲メニ「デキタリス」劑ヲ用キタリ軟膏ノ種類ハ硼酸軟膏ウイルソン氏軟膏「イヒチオール」軟膏亞鉛華「バスタ」又頭毛中ニハ「チンク」油ノ如キ何レモ其效力ニ於テ大差アルヲ見ザリキ然レドモ先入主トナリ今尙ホ比較的の多ク「イヒチオール」軟膏ヲ用キ婦人ノ長キ頭髮部ニ於テハ二十乃至三十%「デシンフェクトールバスタ」ヲ用ユ是レ其治後ニ於テ之ヲ除去シテ清潔ニナサントスル際「チンク」油ニ比シ較々容易ナルガ故ナリトス即チ「イヒチオール」軟膏ハ毎日一回交換シ罌法ハ朝夕一回ヅ、交換ス頭部ニ於ケル「デシンフェクトールバスタ」ハ最初頭部ノ一部ニ蔓延シタルトキハ直チニ頭髮ヲ分ケ頭皮一般ニ健康部ニ至ル迄之ヲ塗り然ル後繃帶シ全經過中放置シ治後二乃至三日毎日一回五%硼酸「ワゼリン」ヲ以テ拭除シ後チ梳ルトキハ容易ニ除去スルコトヲ得タリ如此處置セシモノ全數十五名最短四日最長二十三日平均十一日之ヲ以テ治癒セシムルコトヲ得タリ然ルニ數年前ヨリ前法ニ兼テ傳染病研究所發賣ノ丹毒治療液ヲ注射シ或ハ連鎖球菌血清ヲ注射シ或ハ同血清ト治療液ト併用シ經過

ヲ短縮シ得タリ即チ連鎖球菌血清ヲ注射セシモノ七人ニ

シテ二日乃至十八日平均九日、四治療液ヲ注射セシモノ

十四人ニシテ六日乃至二十四日平均九日、五血清及治療

液ヲ併用セシモノ五人ハ六日乃至十四日平均八日、六ニ

シテ治療セシムルコトヲ得タリ此統計ニヨルトキハ血清

及治療液ヲ兼用セシモノハ其成績最良ナルガ如キモ多ク

ハ血清ヲ注射スルモ益々蔓延スルガ故ニ治療液ヲ試用セ

シモノニシテ(以上ノ統計ハ發病ノ日ヨリ全ク七度以下

ニ下リシ日迄ヲ計算セリ)血清注射ヲ行ヒシ日ヨリ解熱

ニ至ル迄ノ日ヲ擧グルトキハ血清注射ノ翌日全ク解熱セ

シモノ二人三日目二人四日目二人六日目一人ニシテ注射

ノ翌日全ク解熱セザルモ熱度ハ著シク下リ蔓延ノ勢力大

ニ減ズルニ至ル如此血清注射ノ效力ニ差異ヲ生ズルハ畢

竟其原因他ノ化膿球菌ニ因セシモノ全ク無効ナリシ故ニ

アリト斷言セザルベカラズ故ニ若シ出來得ベクハ其原因

ヲ定メ然ル後注射スルヲ最良トナスモ其確定ニ時日ヲ要

スル場合ニハ先ヅ血清ヲ注射センコトヲ最良ナリト思考

セリ但シ予ノ血清注射後關節痛神經痛ヲ發シタルモノ二

名「ウルナアリヤ」ヲ發シタルモノ三名アリシモ數日ニシ

テ治シタリ

土肥章司君 尖圭紅色苔癬ノ二例

Sh. Dohi: Zwei Fälle von Eichen ruber acuminatus.

第一例 西村某女 十三歲 家族中ニ同様ノ皮膚病ヲ有

スルモノナシト云フ患者生來虛弱ナリシガ約一ヶ年前最

初頸部ニ次デ手、前膊、顔面、下肢ニ發生シ輕度ノ癢痒

アリ

患者ハ體格營養共ニ不良頭部ノ毛髮ハ黑褐色纖細ニシテ

稀疎、皮膚ニハ異常ナシ發疹ハ相對的ニ發生シ大サハ帽

鍬頭大乃至半米粒大ニシテ皮膚面ヨリ圓錐形ニ隆起シ多

クハ淡赤色乃至赤色ナルモ項部ニ存スルモノハ殆ド普通

皮膚色ヲ呈シタリ頂點ニハ尖圭硬固ノ灰白色角質物ヲ附

著セリ之ニ反シ顔面(前額、兩頰部、頤部)ノ發疹ハ扁

平ニシテ表面ニ往々白色菲薄ノ鱗屑ヲ被ルアリ一般ニ發

疹ハ散在性ニ存シ融合セル部ヲ認メズ最モ密生セルハ前

額、頰部、項部、頸部、手背竝ニ手指第一節背面ニシテ

上下肢ニハ少數ノ發疹散在性ニ存スルノミ手掌足蹠爪甲

ニ異常ナシ(寫眞供覽)

第二例 竹村某女 十三歲 二年前先ヅ顔面ニ發生シ輕

度ノ瘙痒アリ發疹ハ圓錐形ニシテ性質全ク第一ニ一致シ
顔面、頸部、項部及上下肢ノ主トシテ伸展側ニ存在セリ
手掌、足蹠、爪甲ニハ異常ナシ(寫眞供覽)

前兩例中興味アルハ第一例ニシテ顔面ノ發疹ハ扁平紅色
苔癬ニ酷似シ他部ノ發疹ハ全ク尖圭紅色苔癬ニ一致セリ
即チ兩種苔癬ハ經過中往々相互ニ移行シ兩種同症ナリト
ノ見解ヲ立證スルニ好適セル症例ト信ズ

土肥章司君 徽毒皮膚反應ニ就テ

St. Dohi: Über die Hautreaction der Syphilis.

吾人ハ野口氏「ルエチン」ヲ以テ徽毒患者ノ皮膚反應ヲ檢
シタルモ其症例少數ニシテ陽性ノ割合ヲ舉グルモ價値ナ
キヲ以テ省略シ左ニ強陽性ヲ呈シタル局部ノ蠟製模型及
其組織の標本ヲ供覽スベシ

患者ハ硬口蓋ニ於テ齒列ニ近ク鳩卵大ノ徽毒性潰瘍ヲ有
シフ氏反應強陽性ヲ呈シタリ上膊内面ノ「ルエチン」注入
部ハ二日ニシテ著明ノ紅斑ヲ呈シ次第ニ浸潤ヲ來タシ九
日目ニ於テハ潮紅部直徑一・五仙米アリ皮膚面上ニ半球
形ニ隆起シ中央部稍、軟化シテ黃赤色ヲ呈スルニ至レリ
注射後十四日目ニ局部ヲ切除シ組織標本ヲ造リ檢スルニ

炎症性浸潤ハ乳頭下部ヨリ皮下脂肪組織ニ達シ浸潤部ト
周圍組織トノ境界ハ明瞭ニシテ恰モ結締織被膜ヲ以テ包
圍セラル、ガ如キ觀アリ乳頭部ニハ輕度ノ單核小圓形細
胞浸潤アリ殊ニ血管周圍ニ著明ニシテ血管稍、擴張ス浸
潤部ノ中央ハ軟化ニ陥リ顆粒樣頽敗物及顆粒樣變性ヲ呈
スル細胞アリ變性細胞ハ核染色質ノ尙ホ存スルアリ或ハ
著シク膨大シテ毫モ核ヲ認メザルアリ巨態細胞ハ浸潤部
ノ邊緣ニ存シ大小種々ノ巨態細胞ハ往々一枚ノ標本ニ於
テ數十個ヲ認ム而シテ増殖セル細胞核ハ多クハ細胞體ノ
中央ニ存シ細胞體ハ不正多角形ニシテ周圍ニ突起ヲ出ス
其形態ハラングハンス氏型ヨリモ寧ロ異物巨態細胞ノ觀
アリ浸潤部ニハ單核小圓形細胞ノ外少數ノ多核小圓形細
胞上皮樣細胞、幼結締織細胞アリ彈力纖維ハ周圍ニ壓排
セラレ浸潤部中ニ於テハ散在性ニ極メテ少數ノ纖維ヲ認
ムルノミ

● 學 會 講 演

今春ノ學會ニ於テ本會員ノ講演セラレタルモノ左ノ如シ

○ 內科學會 (東京、四月一、二、三日)

沃度劑其他數種ノ藥品ガ結核菌發育ニ及ボス研究

ドクトル 竹中繁次郎

○外科學會 (東京、四月一、二、三日)

「レントゲン」療法ノ治驗報告

ドクトル 飯森益太郎
伊藤 哲一

日本ニ於ケル「ヘルニヤ」ノ地理的分布

○耳鼻咽喉科學會 (東京、四月一、二、三日)

咽喉科領域ノ悪性腫瘍ニ對スル「ラヂウム」治療治驗

高崎 文雄
同 上

上顎骨腐骨

今期ノ流行性感冒ト急性中耳炎ニ就テ

鼻腔及副鼻腔「ボリープ」ノ壞疽

附 鼻腔内ニ逆生セル齒牙ノ一例

高齢者ノ聽能

學齡兒童ノ口蓋扁桃腺肥大ニ就テ

○小兒科學會 (東京、四月一、二日)

健康年長兒ニ於ケル胃機能的檢査成績ニ就テ

婦人科學會 (東京、四月二日)

妊娠性糖尿ノ原因的研索

○衛生學會 (東京、四月二、三日)

「メチレンブラウ」及「チアノクプロール」ニ

應用セル結核動物ノ治療成績

日本出血性黃疸「スピロヘータ」病原ニ就テ

○眼科學會 (東京、四月二、三日)

慢性邊緣溝性角膜炎ノ病理ニ就テ

附 標本供覽

○神經學會 (東京、四月四日)

栗山光太郎

酸化炭素中毒ニ因スル精神異狀者ノ剖見例
變質徵候ノ發生論追加

橋本 監次郎
松原 三郎

○皮膚科學會 (仙臺、三月二十八日)

癩治療薬ノ免疫性物質ニ及ボス影響

土肥 章司

通信

●北 豊吉氏通信

(三十年卒業。ドクトル。大阪市衛生試験所長)

拜啓本月十五日午後五時より大阪市南區明月樓に於て第七回十全會大阪支部總會を開きて木村大阪醫科大學外科教授。濱地病院長。政山病院長等其他知名の同窓生約三十名の會合あり當番幹事の會務及會計報告あり各自胸襟を開きて快談時の移るを知らず午後九時散會せり。

在大阪金澤醫專同窓會々則

第一條 本會ハ大阪市及附近在住ノ金澤醫專出身者及同校ニ縁故アル者

ヲ以テ組織ス

第二條 本會ハ金澤醫專同窓會ト稱シ同窓者懇親ヲ謀ルヲ以テ目的トス

第三條 春秋各一回會員ノ總會ヲ開キ時宜ニヨリ大阪市内會員ハ茶話會

ヲ開會スルコトアル可シ

第四條 本會ハ會務整理ノ爲メ大阪市内現住會員中ヨリ幹事三名ヲ互選

シ任期ハ二ケ年トシ但重任ヲ妨ケス

第五條 本會々員中吉凶ノ際ハ互ニ相訪問スル者トス

第六條 本會々員ハ總會ノ時幹事ヨリ通知セル金額ヲ納メ其他隨時徴收スル者トス

第七條 本會ニ記事録一會計簿一會員名簿一ヲ調製シ幹事保管ノ責ニ任ス

第八條 本會事務所ハ當分ノ内大阪市南區天王寺松ヶ鼻町五四八四番地

小島佐藏宅ニ置ク

右ハ明治四十三年十一月二十日寶塚溫泉場分銅屋ニ開キタル本會春期總會ニ於テ決定ス

金澤 醫學專 窓會

會員名簿

大阪市東區ノ部

東區岡山町三七四

同 山谷町

東 一二 同 大阪砲兵工廠醫局

南二七〇八 同 大阪歩兵第三十七聯隊醫務部

南二七〇八 同 同

南二六〇八 同 大阪歩兵第八聯隊醫務室

東二一八三 同 北久太郎町一丁目濱地病院

東二一八三 同 同

本局一四四 同 道修町高安病院

同 生玉町九十四番地遠藤方

同 大阪衛戍病院

同 本町一丁目停留所前

大阪市西區ノ部

西區九條通一丁目二二

西二〇八七 西區川口町バルナツ病院

同 本田一丁目四番地

西六〇七 同 新町緒方病院

西六〇六 同 同

西二六二 同 大阪市立衛生試験所

西二六二 同 同

西七九八 同 江戶堀南通二丁目

同 九條通り三丁目糸川病院

同 九條通り秋山織馬内

大阪市南區ノ部

南八二七 南區天王寺松ヶ鼻町五四八四

南五五 同 谷町薄病院内

南一五四四 同 鹽町四丁目木村病院

南三八二九 同 惠美須町八二

同 木津鷗町一丁目一三三一

同 難波河原町二丁目一四八七

南二四九四 同 天王寺逢阪上ノ町山田病院

南一三一四 同 長堀橋筋二丁目一八

南一〇三〇 同 日本赤十字病院内科

同 日本橋二丁目二番

同 區役所檢疫部

大阪市北區ノ部

東二七一三 北區天満此花町一丁目

同 空心中町一丁目一八ノ一

同 北野太融寺町七四一

西二六二二 同 安治川二丁目政山病院

山田有登

鎌尾萬明

小島貞三

大村作二郎

北 豐 吉

原田四郎

猪飼史郎

北野榮藏

秋山爲夫

小島佐藏

木村豐三郎

木村孝藏

上阪政太郎

折口 靜

崎山敏雄

山田幸吉

谷中正勝

中川久成

山内馨二郎

津田 弘

梁 達 男

岡 勝 重

塚本富彦

政山龍雄

土一七四四 北區上福島北一丁目
 土二六〇九 同 上福島中四丁目
 東二八九〇 同 北野高垣町四九八
 同 上福島血清藥院

大阪府下郡部會員

府下西成郡傳法町
 同 豐能郡服部村
 同 泉北郡樽井村
 同 泉南郡新家村新家
 同 泉南郡佐野町
 同 豐能郡池田町
 同 三島郡福井村字福井
 同 泉北郡大津村
 同 同 横山村
 同 同 南陶器村
 同 西成郡勝間村玉出
 同 北河内郡嗟咤村字出口
 同 西成郡鷺洲町字海老江

接 近 府 縣 會 員

兵庫西ノ宮町同生病院
 京都市新町上ル松山病院
 同
 神戸市川崎造船所病院
 同
 同
 神戸市横濱生命保險神戸支部内

久保勝次
 黒川靈巖
 山内順次
 治田信章

石川元良
 鳥山政彰
 伊阪春
 松本常次
 深澤治三郎
 瀬戸卯三郎
 彦阪誠一
 八木徳太郎
 小野林利一
 澤田外三郎
 橋内兵治
 澤田辰造
 和多利勇作
 下川外史
 松山爲雄
 下阪雄太郎
 松尾等
 淺田耕造
 淺利義治
 吉武安男

神戸市横濱生命保險神戸支店內

奈良市公納堂町

奈良縣宇陀郡宇陀村松井

和歌山市赤十字社病院

徳島縣石井町

大阪西區川口海眞液濟會大阪病院長

岡山醫學專門學校内

柴原外男

松森佐一

貝増省義

上田茂

富野佳照

桂田富士郎

上阪勝熊

●大村作太郎氏通信

(大正三年卒業。十全會宛)

(前略)降て拙者事健康にて蠢々乎として表記の病院に暮し居候院長は九大出身の西村榮吉氏にして年頃三十五六才極めて親切の御方にて新しき雜誌や書籍も取り居られ小生は内科小兒科等其の他色々指導せられ小生も喜び居候小生は外科的のものを受持たされ居候が何分經驗もなき者故毎月二回程宛札幌區立病院に見學に參り申候當地は附近の村を合せて凡そ人口二万程ある由にて醫師數九名有之中大學出一人長崎出一人眼科慈惠出一人他は内務省出身に候小生の居る病院の狀態は建物に穢なく候へ共先づ札幌旭川間の大病院の内に御座候當地鐵道及警察の方も受持ち居候此の頃の有様は先づ入院患者三十名足らず(時とすれば三十以上になる事ある由)外來凡八九十乃至百名程に候病氣の種類としては呼吸器消化器病外傷最も多き様に候當地は飲料水の關係かは知り不申候へ共アスカリスは非常に多き様に思はれ候

四月十八日

北海道岩見澤病院

大村作太郎

●村山良平氏の名譽

村上良平氏は在學中は本校圖書部のため自己の時間と精力を犠牲に供して盡瘁し多大の効績を遺して一昨年本校醫學科を卒業したる後郷里にありて老父を補け醫術に従事なりしが去年十二月より一年志願兵として入營するや又々氏獨得の性格を發揮したるため軍隊間の好評を博し爲めに去四月十三日の名古屋新聞には左の如き記事を見るに至れり。吾人は吾校より斯る有爲の好青年と模範的國民を出したるを喜び益々同氏の健在を祈る之が眞の國民。

(醫師の支關を閉ちて二等卒で軍事に勵精)

第十五師團豐橋歩兵第十八聯隊第七中隊の初年兵村山良平(二六)は縣下碧海郡六ツ美村の出身の金澤醫學專門學校醫學士にして入營前郷里にて開業し老父(七五)に孝養し居たるが國民の義務として徴兵に合格したるものなれば入營以來更に不満の色なく只管軍務に奮勵しつゝあり昨今毎朝午前四時頃には衆に先立ちに起床し百姓の悴や商家の小僧上りを古兵と尊敬して靴磨きを爲すなど常人の及ばぬ健氣なる振舞に聯隊内の評判となり權藤聯隊長は氏が郷家に老父を残し醫師の支關を閉ちて國民の義務を盡せるに同情し近く何等かの恩典を與へんと詮議中なりと

叙任及辭令

叙高等官六等 八級俸下賜

●金澤醫學專門學校

三月三十一日

眼科學副手囑託 栗山光太郎(大三)
内科學副手囑託 小池才一(大元)

依願囑託ヲ解ク

同日

金澤醫學專門學校醫學士 近藤清吾(四二)

診斷學講師ヲ囑託ス 月手當金拾五圓給與

四月四日

金澤醫學專門學校醫學士 石黒四郎(大三)

解剖學副手ヲ命ス 月手當金貳拾圓給與

同日

金澤醫學專門學校醫學士 塩村和喜男(大二)

内科學副手ヲ囑託ス 月手當金貳圓給與

四月六日

金澤醫學專門學校醫學士 沼田準三(大三)

眼科學副手ヲ囑託ス 月手當金貳圓給與

四月十一日

金澤醫學專門學校醫學士 淺井貞準(大二)

内科學副手ヲ囑託ス 月手當金貳圓給與

●石川縣

三月三十一日

醫員 小池才一(大元)
同 近藤時男(大元)

●内閣

四月八日

任金澤醫學專門學校教授

佐口 榮(四〇)

(叙任及辭令)

第二十一卷 第五號 一八三

第百二十四號 二七

十級俸給與

四月一日

金澤病院醫員ヲ囑託ス 月手當貳拾圓給與

四月五日

金澤病院醫員ヲ命ス 十二級俸給與

四月十三日

金澤病院醫員ヲ命ス 十二級俸給與

四月十四日

願ニ依リ職務ヲ免ス

四月廿五日

願ニ依リ職務ヲ免ス

醫員 富田 豐咲(四四)

(内一) 能木場 與三吉(大四)

(内一) 長 田 敏(大三)

布施宗一(大二)

調劑員 山崎内藏三(四一)

水島時男(大三)

廣 告

●上田教授在職記念品贈呈釀金第五回報告

金額	氏名	金額	氏名
一金五圓也	岡本三作殿	一金參圓也	熊澤清隆殿
一金參圓也	山 碯 幹殿	一金貳圓也	岡島良吉殿
一金壹圓也	竹下麗三郎殿	一金五圓也	藤井亥之吉殿
一金貳圓也	額 又大郎殿	一金壹圓也	關川敬治殿
一金壹圓也	高橋直作殿	一金壹圓也	字野 正殿
一金壹圓也	神坂勇次郎殿	一金貳圓也	塚本政次殿

一金壹圓也	田邊鼎介殿	一金壹圓也	佐藤祐造殿
一金壹圓也	三上儉二殿	一金壹圓也	林 豐丈殿
一金貳圓也	岡本京太郎殿		
小計參拾參圓也			
總計六百五拾貳圓五拾壹錢也			

●山崎教授在職貳拾年祝賀會寄附金第五回報告

(四月十八日迄ノ分×印ノ現金領取濟ノ分)

金額	氏名	金額	氏名
一金參圓也	×石原 磊三殿	一金貳圓也	伊川得三殿
一金參圓也	×河 合 麿殿	一金四圓也	×梶川 靜夫殿
一金壹圓也	×岡島良吉殿	一金壹圓也	×大脇 瀾平殿
一金壹圓也	×佐藤祐造殿	一金壹圓也	×澁谷 周平殿
一金五圓也	×島崎 佐十郎殿		
計金貳拾壹圓也			
累計金壹千八百六拾八圓七拾錢也			
▲第四回申込報告後現金領取ノ分			
一金參圓也	石坂直次郎殿	一金貳圓也	石渡七郎殿
一金壹圓也	伊藤清治殿	一金壹圓也	井上只次殿
一金壹圓也	飯塚忠男殿	一金壹圓也	伊 阪 春殿
一金貳圓也	伊藤精一殿	一金壹圓也	伊藤芳廣殿
一金壹圓也	池 田 耕殿	一金壹圓五拾錢也	伊東祐彦殿
一金拾圓也	八牧政孝殿	一金貳圓也	林 義 輔殿
一金壹圓也	春野重二殿	一金壹圓也	濱地藤太郎殿
一金壹圓也	蓮村外男殿	一金參圓也	林 龍 門殿

一金貳圓也	波々伯部重政殿	一金壹圓也	堀田慎之殿	一金五圓也	村上庄太殿	一金壹圓也	村田金太郎殿
一金參圓也	堀井勝二殿	一金參圓也	堀井吉平殿	一金壹圓也	瓜生保之殿	一金壹圓也	宇野正殿
一金壹圓也	刀禰有恒殿	一金壹圓也	遠山繁殿	一金參圓也	岡忍殿	一金五圓也	大竹玄夫殿
一金壹圓也	富澤圭太郎殿	一金貳圓也	富澤外次郎殿	一金壹圓也	岡村俊照殿	一金貳圓也	岡本晃殿
一金壹圓也	日置恭三殿	一金貳圓也	千葉玄也殿	一金壹圓也	岡本規矩男殿	一金壹圓也	太田長作殿
一金貳圓也	鷺山他三郎殿	一金壹圓也	若林定次郎殿	一金壹圓也	大中貞治郎殿	一金壹圓也	太田卯三郎殿
一金壹圓也	加茂智榮殿	一金貳圓也	梶川甚一殿	一金五圓也	岡本三作殿	一金壹圓也	大橋豐殿
一金壹圓也	川島俊殿	一金壹圓也	川原武夫殿	一金五圓也	忍久保半次郎殿	一金壹圓也	大城喜太郎殿
一金壹圓也	吉江乘太郎殿	一金參圓也	吉村一馬殿	一金貳圓也	大木則雄殿	一金壹圓也	小野澤庄桂殿
一金壹圓也	吉池省吾殿	一金參圓也	高安右人殿	一金壹圓也	大河原保智殿	一金五圓也	大月齋庵殿
一金壹圓也	玉森法靈殿	一金貳圓也	武田久米藏殿	一金貳圓也	藏光長次郎殿	一金壹圓也	桑島柳吉殿
一金壹圓也	田濱仙次郎殿	一金壹圓也	武田良海殿	一金壹圓也	久高唯忠殿	一金參圓也	熊澤清隆殿
一金壹圓也	田中精一殿	一金壹圓也	高崎文雄殿	一金壹圓也	山田謙次殿	一金貳圓也	山田義忠殿
一金參圓也	竹中繁次郎殿	一金貳圓也	箱保二殿	一金壹圓也	山田岩次郎殿	一金貳圓也	山上岩雄殿
一金參圓也	高森友正殿	一金壹圓也	田中吉左衛門殿	一金壹圓也	山田岩次郎殿	一金貳圓也	山田忠之殿
一金貳圓也	田村昌殿	一金壹圓也	高橋秀殿	一金壹圓也	矢原準一殿	一金壹圓也	真柄佐一郎殿
一金參圓也	高田範國殿	一金壹圓也	高橋貞碩殿	一金貳圓也	政山龍雄殿	一金五圓也	松江常行殿
一金參圓也	高山尙平殿	一金參圓也	竹田忍殿	一金五圓也	万木九兵衛殿	一金貳圓也	牧野政吉殿
一金壹圓也	竹重信次殿	一金貳圓也	田村實殿	一金壹圓也	松井啓殿	一金五圓也	前田道貞殿
一金壹圓也	高橋善三郎殿	一金壹圓也	曾田泰十郎殿	一金壹圓也	松田正二殿	一金壹圓也	增井榮太郎殿
一金貳圓也	筒井八百珠殿	一金壹圓也	坪倉利殿	一金壹圓也	松崎源次郎殿	一金壹圓也	松村喜一殿
一金貳圓也	塚本政次殿	一金貳圓也	中島誠殿	一金壹圓也	松井宣正殿	一金參圓也	藤井助雄殿
一金壹圓也	長廻善吉殿	一金壹圓也	成澤輝一殿	一金貳圓也	福士政一殿	一金壹圓也	藤本純吉殿
一金壹圓也	長屋泉殿	一金壹圓也	中本和三郎殿	一金參圓也	福岡喜洋殿	一金貳圓也	古屋榮治殿
一金壹圓也	中谷内善雅殿	一金參圓也	中川駿殿	一金壹圓也	小暮喜一殿	一金壹圓也	小鷹利三郎殿
一金貳圓也	中川良忠殿	一金壹圓也	長久開一郎殿	一金參圓也	近藤益成殿	一金參圓也	古丸藤三郎殿

金子博士在職參拾年祝賀會寄附金

申込第三回報告

氏名		金額	氏名		金額
小林茂樹殿	一金參圓也	小倉加一郎殿	一金參圓也	木村孝藏殿	一金參圓也
鮎屋京次郎殿	一金壹圓也	小堀茂雄殿	一金參圓也	牧野最澄殿	一金參圓也
江村研正殿	一金壹圓也	荒川正雄殿	一金參圓也	加藤寬殿	一金參圓也
赤土亮殿	一金五圓也	朝山豐太郎殿	一金參圓也	中村欣一殿	一金參圓也
天野隆義殿	一金壹圓也	秋山八百藏殿	一金參圓也	岡本規矩男殿	一金參圓也
佐野幹雄殿	一金壹圓也	佐々木純一郎殿	一金拾圓也	矢野靜哉殿	一金參圓也
佐川忠茂殿	一金貳圓也	坂井茂殿	一金五圓也	八木田九一殿	一金參圓也
齋藤賢德殿	一金貳圓也	佐々木遠殿	一金五圓也	菅武夫殿	一金參圓也
鬼頭英殿	一金貳圓也	湯目隆續殿	一金五圓也	近藤成美殿	一金參圓也
三股梅吉殿	一金貳圓也	宮島健治殿	一金參圓也	野嶽利七殿	一金參圓也
三崎吉太郎殿	一金壹圓也	清水秀夫殿	一金參圓也	中野鑄太郎殿	一金參圓也
周須聲殿	一金貳圓也	島田靜男殿	一金參圓也	濱田毅郎殿	一金參圓也
笹田順二殿	一金貳圓也	志村達雄殿	一金參圓也	林喜久松殿	一金參圓也
柴野順吾殿	一金拾圓也	下平用形殿	一金參圓也	橋本亥之雄殿	一金參圓也
白井巽殿	一金貳圓也	白井濟殿	一金參圓也	田上清貞殿	一金參圓也
平泉泰雄殿	一金貳圓也	須藤憲三殿	一金參圓也	中濱東一郎殿	一金參圓也
鈴木忍殿	一金貳圓也	駿河尙庸殿	一金參圓也	大串菊太郎殿	一金參圓也
杉下尙一殿	一金貳圓也			山崎三藏殿	一金參圓也
加藤信智殿	吉野巖殿	安藤信次殿	高橋直作殿	神保正長殿	一金參圓也
安達友直殿	若林善太郎殿			矢吹清殿	一金參圓也
河原芳長殿	窪田小市殿			增田貞吉殿	一金貳圓也
				阪口磊石殿	一金貳圓也

以上
 第一回報告中八田智證殿金壹圓ヲ貳圓ニ増額ニ付訂正ス
 第三回報告中古屋榮治殿金壹圓ヲ貳圓ニ増額ニ付訂正ス

一金貳圓也	不破 鑽吉殿	一金貳圓也	河崎 規矩殿	一金貳圓也	栗山 光太郎殿	一金貳圓也	猪木 久馬三殿
一金貳圓也	日下 辰吉殿	一金貳圓也	高山 正雄殿	一金貳圓也	小池 才一殿	一金貳圓也	佐伯 義久殿
一金貳圓也	小原 德太郎殿	一金貳圓也	周 頌聲殿	一金貳圓也	八牧 政孝殿	一金貳圓也	飯塚 忠男殿
一金貳圓也	石黑 四郎殿	一金貳圓也	大井 清殿	一金貳圓也	杉本 兵太殿	一金壹圓五拾錢也	北川 友次郎殿
一金貳圓也	庄田 喜太郎殿	一金貳圓也	中本 覺二殿	一金壹圓也	松井 壽夫殿	一金壹圓也	小原 芳雄殿
一金貳圓也	敷波 重治郎殿	一金貳圓也	牧 孝太郎殿	一金壹圓也	新 八郎殿	一金壹圓也	武内 禿孝殿
一金貳圓也	猪木 彦助殿	一金貳圓也	八田 智證殿	一金壹圓也	篠田 嘉平殿	一金壹圓也	野村 千太郎殿
一金貳圓也	田中 一次郎殿	一金貳圓也	上阪 政太郎殿	一金壹圓也	三浦 信明殿	一金壹圓也	岩崎 勝治殿
一金貳圓也	住吉 三郎殿	一金貳圓也	村松 純吉殿	一金壹圓也	近藤 清作殿	一金壹圓也	高島 喜市殿
一金貳圓也	高辻 喜作殿	一金貳圓也	山村 茂一殿	一金壹圓也	伊藤 精一殿	一金壹圓也	藤井 芳哉殿
一金貳圓也	松田 龜太郎殿	一金貳圓也	田幡 義秋殿	一金壹圓也	藤波 謙殿	一金壹圓也	赤井 直好殿
一金貳圓也	中川 幸庵殿	一金貳圓也	武田 正壽殿	一金壹圓也	長田 敏殿	一金壹圓也	谷澤 一郎殿
一金貳圓也	島村 源太郎殿	一金貳圓也	的場 周藏殿	一金壹圓也	前川 孝之殿	一金壹圓也	岡本 晃殿
一金貳圓也	韓 清泉殿	一金貳圓也	錢 崇潤殿	一金壹圓也	野島 茄三郎殿	一金壹圓也	大本 素夫殿
一金貳圓也	厲 家福殿	一金貳圓也	内藤 榮治殿	一金壹圓也	真柄 佐一郎殿	一金壹圓也	鈴木 於菟吉殿
一金貳圓也	藤本 純吉殿	一金貳圓也	竹内 三次殿	一金壹圓也	大橋 豐殿	一金壹圓也	田村 實殿
一金貳圓也	若槻 寛隆殿	一金貳圓也	加野 春夫殿	一金壹圓也	大原 米次郎殿	一金壹圓也	荒川 正雄殿
一金貳圓也	鳥飼 尹重殿	一金貳圓也	岡本 慶之助殿	一金壹圓也	神内 甚六殿	一金壹圓也	松崎 清博殿
一金貳圓也	福井 尙殿	一金貳圓也	山岡 桃庵殿	一金壹圓也	建部 鈴次郎殿	一金壹圓也	小森 定司殿
一金貳圓也	朝倉 三郎殿	一金貳圓也	清水 澄殿	一金壹圓也	浦井 鐘一郎殿	一金壹圓也	北川 勝末殿
一金貳圓也	小林 茂樹殿	一金貳圓也	佐崎 伊久殿	一金壹圓也	寺尾 敬三殿	一金壹圓也	廣岡 修造殿
一金貳圓也	弓場 五郎殿	一金貳圓也	山崎 重治殿	一金壹圓也	菊地 文借殿	一金壹圓也	吉川 六郎殿
一金貳圓也	石川 精一殿	一金貳圓也	那谷 與一殿	一金壹圓也	宮地 通夫殿	一金壹圓也	小林 八十之助殿
一金貳圓也	伊藤 又吉殿	一金貳圓也	森田 隼三殿	一金壹圓也	伊藤 芳廣殿	一金壹圓也	宇賀治 元造殿
一金貳圓也	近藤 時男殿	一金貳圓也	石川 寛二殿	一金壹圓也	大島 重雄殿	一金壹圓也	阿波 加憲吉殿
一金貳圓也	富田 豊咲殿	一金貳圓也	近藤 清吾殿	一金壹圓也	小泉 義久殿	一金壹圓也	眞館 修平殿

一金壹圓也	山崎清吉殿	一金壹圓也	松江常行殿	一金壹圓也
一金壹圓也	伴野欣平殿	一金壹圓也	小田得一殿	一金壹圓也
一金壹圓也	戸田孝作殿	一金壹圓也	宮川熊三郎殿	一金壹圓也
一金壹圓也	中谷豐充殿	一金壹圓也	水口順殿	一金壹圓也
一金壹圓也	並河茂樹殿	一金壹圓也	洲崎歸一殿	一金壹圓也
一金壹圓也	崎達郎殿	一金壹圓也	栢原直次郎殿	一金壹圓也
一金壹圓也	大橋忠俊殿	一金壹圓也	太田卯三郎殿	一金壹圓也
一金壹圓也	岩佐冬藏殿	一金壹圓也	赤尾肇三殿	一金壹圓也
一金壹圓也	砂川茂男殿	一金壹圓也	江龍一彦殿	一金壹圓也
一金壹圓也	八島修殿	一金壹圓也	佐藤祐造殿	一金壹圓也
一金壹圓也	飯田豐殿	一金壹圓也	輕部修一殿	一金壹圓也
一金壹圓也	深澤忠義殿	一金壹圓也	西東榮太郎殿	一金壹圓也
一金壹圓也	河合忠次殿	一金壹圓也	宇野正殿	一金壹圓也
一金壹圓也	太田尙男殿	一金壹圓也	原田正廣殿	一金壹圓也
一金壹圓也	大瀧經殿	一金壹圓也	石原泰一郎殿	一金壹圓也
一金壹圓也	横山勇吉殿	一金壹圓也	三好當軒殿	一金壹圓也
一金壹圓也	白井官太郎殿	一金壹圓也	伊阪春殿	一金壹圓也
一金壹圓也	榑谷清水殿	一金壹圓也	新芳三郎殿	一金壹圓也
一金壹圓也	加藤鞆作殿	一金壹圓也	長井運男殿	一金壹圓也
一金壹圓也	森田耕一殿	一金壹圓也	古村良久殿	一金壹圓也
一金壹圓也	武内勉二殿	一金壹圓也	蓮村外男殿	一金壹圓也
一金壹圓也	村上兵吉殿	一金壹圓也	松生哲良殿	一金壹圓也
一金壹圓也	山口茂太郎殿	一金壹圓也	後藤佐吉殿	一金壹圓也
一金壹圓也	三宅衛生殿	一金壹圓也	小屋了伯殿	一金壹圓也
一金壹圓也	上杉研逸殿	一金壹圓也	蒲田外之助殿	一金壹圓也
一金壹圓也	佐々木純一郎殿	一金壹圓也	越村甚次郎殿	一金壹圓也

大口富治殿	一金壹圓也	牧真武殿
塚本富彦殿	一金壹圓也	井上晃殿
河合鷹殿	一金壹圓也	長澤安弘殿
駒田作之進殿	一金壹圓也	中谷正範殿
齊藤幸作殿	一金壹圓也	坂井茂殿
馬淵秀治良殿	一金壹圓也	湯田隆緒殿
西業求殿	一金壹圓也	丹羽直殿
齊藤靜衛殿	一金壹圓也	笠島宗之殿
矢追秀和殿	一金壹圓也	藤井怡殿
野村禎一殿	一金壹圓也	中川喜平殿
丸山六郎殿	一金壹圓也	河村多郎殿
茂居政治殿	一金壹圓也	賀川見龍殿
酒井亮男殿	一金壹圓也	村松貞治殿
中條隆之助殿	一金壹圓也	增田菅次郎殿
白井濟殿	一金壹圓也	田中鉄吉殿
草野佐一郎殿	一金壹圓也	岡部博殿

計金四百拾圓五拾錢也
 總計金千六百貳拾四圓五拾貳錢也